

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立名護青少年の家	対象年度	令和7年度
------	-------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認

1. 維持管理業務	①-1
(1) 清掃	
(2) 保守・点検	
(3) 保安・警備	
(4) 小規模修繕	
(5) 備品購入	
(6) 防犯・防災対策	
(7) 料金徴収業務	
2. 運營業務	①-5
(1) 利用実績	
1) 利用者数等	
2) 施設稼働率	
3) 利用料金減免	
(2) 受付・接客	
(3) 広報	
(4) 情報管理	
(5) 職員研修の実施	
3. 活動(受入)プログラム	①-8
4. 主催事業等	①-9
5. 主な共催事業等	①-13

II. サービスの質の評価 ①-14

- 施設の利用に関する業務等
- 主催事業等

III. サービスの安定性評価(財務状況) ①-23

- 事業収支
 - 収入
 - 支出
- 経営分析指標

IV. 総合評価 ①-26

- 目標
- 評価結果

附表 経営状況分析シート 資料3

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立 名護青少年の家	対象年度	令和7年度
指定管理者	沖縄文化スポーツイノベーション株式会社 指定期間: 令和7年4月～令和8年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

Ⅰ. 履行確認

Ⅰ 1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		全職員にて館内の清掃を毎日行った。	・現地確認	適正	職員が毎日館内の見回りを行い、確認しており、適正に実施されている。
〈定期清掃〉	○	○	・グリーストラップ (浮上油脂等清掃 原則週1回、槽内 沈殿物(汚泥)清 掃原則月1回、利 用団体に合わせ月 末に実施) ・窓ガラス・サッシ 拭き(月1回、毎月 第1月曜日) ・敷地内の樹木剪 定(随時実施) ・キャンプ場、運動 広場の芝刈り(随 時実施) ・チリ回収(週2回) ・空調設備清掃 (随時実施)	・報告書等 ・現地確認	適正	年間を通し、定期清掃業務等を計画的に実施する等適正に実施されている。
〈樹木管理〉	○		・全職員にて植栽 の維持管理を実施 ・定期的に剪定・ 除草作業等を実施	・現地確認	適正	現地確認により、敷地内の草木等が適切に管理されていることを確認した。作業時の健康管理等に留意しながら、引き続き、適切に管理いただきたい。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		随時、基本的かつ簡易的な保守・点検を実施した。	・チェックリスト	適正	毎日3回(朝・昼・夕)に簡易的な見回りを実施しチェックリストにより不具合箇所を記録する等、適切な管理が行われている。引き続き、適切に管理いただきたい。
電気設備点検		○	設備点検2ヵ月1回 停電年次点検年1回(5/12)	・委託契約書 ・月次点検報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。

消防設備保守点検		○	機器点検、総合点検年1回(5/1) 防火対象物点検年1回(3/2)	・委託契約書 ・点検結果報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。
簡易水道設備点検		○	設備点検月1回 簡易水道水質検査年2回(9/11、2/24)	・委託契約書 ・点検表	適正	適切に実施されている。貯水槽の循環式滅菌装置が長年故障しているが、今年度県で更新工事を行う予定である。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。
浄化槽設備点検			浄化槽設置なし(下水道)			
ボイラー設備保守点検		○	設備点検月1回	・定期保守点検業務契約書 ・点検結果報告書	適正	適切に実施されている。ボイラータクトの腐食、破損が課題であったが、R7年度に県で更新工事を行った。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。
昇降機設備保守点検		○	遠隔操作点検月1回 設備点検3ヵ月1回	・エレベータ保守点検業務契約書(POG) ・点検報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。
衛生保守管理業務(害虫防除業務)			-	-	-	実施なし。今後は、適切に実施していただきたい。
貯水槽清掃		○	貯水槽清掃年1回(3/16)	・貯水槽清掃報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処していただきたい。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備		○	【警備員】 毎日18:00～8:00 常駐1名 保安警備実施 【機械警備】 毎日8:00～8:30、 17:30～18:00 その他職員研修等による完全休所日	・警備請負契約書 ・機械警備請負契約書	適正	連絡ノートにより委託業者との情報共有を実施している。また、隣接する管理施設とあわせて警備を実施することにより経費低減が図られる等、適切に実施されている。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施	○		決算:2,017千円 ・ボイラー室内貯湯槽温度ゲージ修繕 ・中継ポンプ場内マンホール修繕 ・ボイラー室内浴槽2階系統エア抜き管修繕 ・宿泊室用室外機修繕(計4件) ・体育館内、3階談話コーナー内冷水機修繕 ・厨房内排水管路詰まり修繕 ・中継ポンプ室内センサー修繕 ・体育館内小便器修繕 ・ボイラー用燃料タンク配管修繕 ・厨房内製氷機修繕 ・発電機室内換気扇修繕 ・職員用洗濯機修繕 ・ボイラー室内ろ過機修繕 ・セキュリティカメラ用モニター取替え	・修繕報告書 ・支出関係文書	適正	R6年度の建築基準法第12条点検結果から、指摘箇所等を中心とした計画的な修繕を実施している。また、施設点検時にチェックリストを用いることで、修繕箇所の早期発見、情報共有につながり、利用者および職員の安全確保を優先した適切かつ迅速な修繕対応がされている。引き続き、施設・設備の安全管理等に当たっていただきたい。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 0 円	○		・購入なし	聴き取り。現物確認。	概ね適正	備品の所在不明なし。備品台帳(Ⅱ種)が作成がなされていないため、今後作成していただきたい。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
防火訓練	○	○	消火、避難、通報訓練年2回実施(10/6、3/2)	・実施計画書 ・報告書等	適正	火災を想定した消火、通報訓練を2回実施している。夜間(宿直時)の配置人数が少ない状況を想定した具体的な訓練が実施されている。引き続き、実際の場면을想定した訓練実施に努めていただきたい。
防災訓練	—	—	—	—	—	実施なし。地震、津波等の災害に対応した訓練の実施についても検討いただきたい。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		R7年度徴収実績 2,484千円	帳簿確認	適正	料金徴収業務について、キャッシュレス決済等の導入により、利用者のサービス向上のほか、収入管理に係る事務の省力化にもつながっている。引き続き、適正に対応いただきたい。
実費負担等徴収	○		R7年度徴収実績 2,057千円	帳簿確認	適正	

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	全体的に適正に管理されている。建築基準法12条点検の結果を踏まえた修繕を実施しており、引き続き所管課と調整しながら、安全な施設管理に努めていただきたい。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取り組み改善案を記載する

I 2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和6年度 実績	事業計画 (目標値)	令和7年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
利用者延べ数	25,270人	25,811人	23,311人	92%	90%	運営業務、受入事業、主催事業は適切に実施されている。前年度より主催事業の定員充足率は上昇した。しかし、利用者数については、利用団体の構成員減少及び直前の利用キャンセルなどにより、やや減少した。
(利用者内訳)						
学校教育	8,427人	－	7,235人	86%	－	
社会教育	2,060人	－	1,659人	81%	－	
その他	14,783人	－	14,417人	98%	－	
(参考1)施設ごとの内訳	27,398人	－	22,755人	－	－	
宿泊室	8,625人	－	6,025人	70%	－	
研修室	3,336人	－	3,257人	98%	－	
体育館(プレイホール)	11,362人	－	9,654人	85%	－	
キャンプ場	151人	－	196人	130%	－	
その他	3,924人	－	3,623人	92%	－	
(参考2)利用者実数	18,534人	－	15,521人	84%	－	
(参考3)利用団体数	1,229団体	－	1,238団体	101%	－	
【評価基準 (①利用状況)】 目標値に対する達成率 S : 110%以上 A : 100%以上、110%未満 B : 80%以上、100%未満 C : 80%未満			評価(①利用状況)		B	

2) 施設稼働率

	令和6年度 実績	事業計画 (目標値)	令和7年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	361日	361日	361日	100%	100%	利用者の要望に合わせて、休所日(原則月曜日)の受け入れも積極的に行っている。
利用日数	361日	361日	349日	97%	97%	
利用率	100%	100%	97%	97%	97%	

3) 利用料金減免

	教育活動(規5-2-(1))		障害者(規5-2-(2))		県研修(規5-2-(3))		条例16-1免除		条例16-1減額		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
幼稚園											
小学校	33	2,715									
中学校	3	641									
高等学校	10	832									
特別支援											
大学											
その他学校							9	615			国頭教育事務所、公立学校共済組合など
少年団体							11	763			日本宇宙少年団名護分団など
青年団体											
その他団体			2	86	8	273	57	1,969			名護市教育委員会主催事業など
現状分析・課題			教育活動に利用に加え、名護市教育委員会主催事業等においても、利用料金減免を行い、社会教育活動の促進を支援している。								

(2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
全職員が対応可能な体制の構築	○		業務連絡帳、朝礼及び月会議での情報共有	・業務連絡帳等	適正	毎日、朝礼および連絡ノートで職員間の情報共有を行うほか、本部への報告事項等については、会議で情報を共有する等の対応がされており適正に行われている。

(3) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP、新聞、館内掲示や配布物による事業等のアピールを実施	○		HP、インスタグラム、公式LINEの更新随時(イベント情報等)新聞副読誌への掲載(主催事業26件)市民のひろばへの掲載(主催事業1件)	・聞き取り	適正	ホームページ、SNS、新聞等での情報発信に努め、適正に行われている。また、各事業への申込フォームをホームページに掲載し、営業時間外でも申し込みができるよう配慮されている。引き続き、IT等を活用した広報等の取組を期待したい。

(4) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報等の適切な管理を実施する	○		- 個人情報管理担当職員の選出 - 月例職員会議にて全職員への周知徹底 - 個人情報書類の管理・適正廃棄、シュレッターの使用徹底	・聞き取り	適正	個人情報管理者を所長とし、参加受付名簿等の個人情報を含む文書については、シュレッターを使用し処分する等、適正に管理されている。

(5) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
業務仕様書に基づく職員研修の実施	○		- 青少年教育施設職員研修 - 九州地区青少年教育施設協議会・総会 - 沖縄県民カレッジ「美ら島沖縄学講座」Web参加(6回) - 沖縄県社会教育研究大会 - 沖縄県社会教育指導者研修 - 普通救命講習 - 労働安全衛生法による特別教育(刈払機、伐木) - 生涯学習コーディネーター - 新規採用職員研修(随時)	・聞き取り	適正	職員のスキルアップ向上に力を入れ、様々な研修を実施することで施設・プログラムの充実に取り組んでいる。また、新規採用職員への研修を行い、サービスの質の向上に努めている。

I 3. 活動(受入)プログラム

プログラム名	内容等	R6実績		R7実績		整合性の検証 (前年比)	現状分析・課題
		回数	人数	回数	人数		
野外炊飯	不便な野外で調理をする過程を通して、かまどの作り方や、薪の組み方、調理の仕方等を体験するとともに、家族や仲間同士で協力しながら食事をする楽しさを味わう。	84	3,555	84	2,867	81%	適切に実施されている。学校の宿泊学習やクラブ活動、子ども会活動、企業研修、お泊り保育など幅広く利用されている。利用者の年齢に合わせた適切な対応が行われている。引き続き、利用者のニーズに合わせ活動プログラムを提供していただきたい。
工作体験	どんぐり等の自然物を使ったものづくりを提供する。	15	344	68	1,054	306%	適切に実施されている。学校の宿泊学習やクラブ活動、子ども会活動、企業研修、お泊り保育など幅広く利用されている。利用者の年齢に合わせた適切な対応が行われている。引き続き、利用者のニーズに合わせ活動プログラムを提供していただきたい。
登山・ハイキング	名護岳周辺の動植物を観察することで自然に親しむ機会を提供し、環境保全の態度を養う。	47	1,794	98	3,519	196%	適切に実施されている。学校の宿泊学習やクラブ活動、子ども会活動、企業研修、お泊り保育など幅広く利用されている。利用者の年齢に合わせた適切な対応が行われている。引き続き、利用者のニーズに合わせ活動プログラムを提供していただきたい。
キャンプファイヤー	仲間と火を囲み、語らいやレク、余興などを楽しむ	21	183	23	233	127%	適切に実施されている。宿泊学習やクラブ活動、子ども会活動、企業研修、お泊り保育等の幅広い利用されている。引き続き、利用者のニーズに合わせ活動プログラムを提供していただきたい。
レク・スポーツ	体育館でスポーツやレクを楽しむ。	509	7520	609	8989	120%	適切に実施されている。宿泊学習やクラブ活動、子ども会活動、企業研修、お泊り保育等の幅広い利用されている。引き続き、利用者のニーズに合わせ活動プログラムを提供していただきたい。
計		676	13,396	882	16,662	124%	

I 4. 主催事業等

事業名	事業区分 (該当に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	主催	自主						
春の星空観察会	○		4月19日	一般	30	34	113%	春の代表的な星空の観察を通じて、夏から秋にかけての季節ごとの星座および天体への関心を深めるプログラムである。参加者の評価も高かった。
葉っぱスタンプ エコバッグ作り	○		4月20日	一般	30	13	43%	公益財団法人沖縄こどもの国と連携し、SDGsやごみ問題、3R等の環境学習をテーマとし、かつ青少年の家の豊かな自然を体験できるプログラムとなった。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
アクティビティ 王決定戦	○		5/3～5/5	一般	設定なし	37	－	名護青少年の家の既存のアクティビティを有効活用し、施設の認知度向上ならびに誘客促進を図るプログラムである。
ホタル観察会 ①	○		5月24日	一般	30	30	100%	名護岳に生息する沖縄固有のホタルの観察や解説を行い、ホタルの生息環境や名護岳周辺のもたらす自然環境の重要性を知るプログラムである。参加者の評価も高かった。
ホタル観察会 ②	○		5月31日	同上	30	29	97%	同上
慰霊の日奉仕活動	○		6月23日	県立北部農林高校、名護高校の生徒及び教諭	設定なし	47	－	北部地域の高校と連携し、高校生が名護岳にある慰霊碑の清掃を行うプログラムである。教育的効果も高い事業である。
夏の野鳥を観察しよう	○		7/5～7/6	一般	30	15	50%	名護岳周辺で見られる季節ならではの野鳥や関連する生き物を観察し、自然と親しむ場をプログラムである。令和7年度は新たに羽地内海での観察も加え、充実した内容となっている。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。

カヌーキャンプ	○		7/12～7/13	親子(3歳以上)	15	17	113%	自然観察及びカヌー体験を通して、親子のふれあいや沖縄県北部地域の自然の豊かさ、大切さを学ぶプログラムである。参加者の評価も高かった。
夏の星空観察会	○		7月26日	一般	30	15	50%	夏の代表的な星空の観察を通じて、夏から秋にかけての季節ごとの星座および天体への関心を深めるプログラムである。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
宿泊指導者研修会	○		8月9日	教職員	30	4	13%	教職員を対象とし、体験活動の流れや青少年の家での過ごし方、引率する際の心構え等を学ぶプログラムである。参加者が少ないため、教育事務所等と調整し、開催していただきたい。
宿泊指導者研修会	○		8月10日	教職員	30	4	13%	教職員を対象とし、体験活動の流れや青少年の家での過ごし方、引率する際の心構え等を学ぶプログラムである。参加者が少ないため、教育事務所等と調整し、開催していただきたい。
ピザ作り体験	○		9月14日	一般	15	13	87%	名護青少年の家野外炊飯場において、親子でピザ釜作りから生地作り、焼き、試食までの全工程を専門職員指導のもと体験するプログラムである。参加者の評価も高かった。
渡り鳥を観察しよう	○		9/27～9/28	一般	30	34	113%	渡り鳥の特徴及び習性を学び、観察することで自然と親しむプログラムである。参加者の評価も高かった。
オータムキャンプ	○		10/11～10/12	一般	15	17	113%	秋のキャンプを通して、親子のふれあいや沖縄県北部地域の自然の豊かさ、大切さを学ぶプログラムである。ネオパークオキナワと連携することで、参加者の満足度向上に繋がっている。
秋の星空観察会	○		10月18日	一般	30	30	100%	秋の代表的な星空の観察を通じて、夏から秋にかけての季節ごとの星座および天体への関心を深めるプログラムである。

秋の自然観察会	○		10月19日	一般	30	15	50%	名護岳の地形・歴史、植物、昆虫において豊富な知識を有する専門家を招聘し、秋の名護岳の自然観察を楽しみながら、やんばるの自然について学ぶプログラムである。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
秋のわんわんハイキング	○		11月9日	一般	20	17	85%	名護岳ハイキングを通して、愛犬家たちのふれあいの場を提供するプログラムである。参加者の評価も高かった。
Xmasキャンプ	○		12/13～12/14	親子(3歳以上)	15	8	53%	「親子で楽しむアウトドアクリスマス」をテーマに、親子で野外活動を行うプログラムである。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
名護青少年家まつり	○		1月31日	一般	設定なし	48	—	「名護さくら祭り」に合わせて施設開放を実施している。施設の認知度向上、並びに誘客促進を図るプログラムである。
親のまなびあいプログラム	○		2月7日	親子(名護市内の小学生)	30	35	117%	名護市教育委員会が実施している「家庭教育支援事業」と連携し、①保護者のみの講座、②子ども同士の異年齢交流、③親子で野外炊飯の3部構成によるプログラムである。
冬の星空観察会	○		2月7日	一般	30	20	67%	冬の代表的な星空の観察を通じて、夏から秋にかけての季節ごとの星座および天体への関心を深め、楽しく学ぶ場を提供した。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
なんぐすく桜見ウォーク	○		2月8日	一般	30	9	30%	青少年の家-さくらの園-名護城公園遊歩道の約3kmの道のりにおいて、カンヒザクラ等の自然を観察し、史跡の解説を交え、地域の自然や歴史とふれあう機会を提供している。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。

ナゴランを育てよう	○		2月8日	一般	30	6	20%	北部農林高等学校園芸工学科の教諭及び生徒を講師として招聘し、貴重なナゴランを名護青少年の家の敷地内に人為的に着生させ、ナゴランを取り巻く環境への理解を深めるプログラムであり教育的効果も高い。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
YAC(日本宇宙少年団)名護分団連携事業宇宙教室	○		2月15日	親子(小学3年生～中学4年生)	30	27	90%	名護青少年の家を活動拠点とする「日本宇宙少年団(YAC)」名護分団の公開講座と連携した新規事業。特別講演や実験を通して科学や宇宙への理解を深めるプログラムである。
冬の自然観察会	○		2月21日	一般	30	17	57%	名護岳の地形・歴史、植物、昆虫において豊富な知識を有する専門家を招聘し、秋の名護岳の自然観察を楽しみながら、やんばるの自然について学ぶプログラムである。参加者数の増やすため広報に力を入れていただきたい。
冬のわんわんハイキング	○		2月23日	一般	20	23	115%	名護岳ハイキングを通して、愛犬家たちのふれあいの場を提供するプログラムである。
キッズアドベンチャー	○		3/25～3/27	小学4年生～中学3年生	15	15	100%	集団生活を通して、良好な人間関係を築き、自然体験や共同生活を通してたくましい身体と自然を愛する心を養うプログラムである。参加者の評価も高かった。
日米国際交流	○		中止	日米の親子(小学5年生～中学3年生以上)	80	0	－	名護青少年の家の施設や受入プログラムを活用し、沖縄に住むアメリカと日本の子どもたちの交流を図るプログラム。米国沖縄総領事館の都合により中止。
防災キャンプ	○		中止	少年消防クラブ(名護消防により募集)	30	0	－	名護市消防本部と連携し、防災に対する心構えと教養を深めるプログラムである。名護消防署との調整がつかず中止。
計					735	579	79%	実施27事業、中止2事業

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載し、変更した場合は変更後の内容も記載すること。

(中止した事業についても、事業名を記載し、現状分析・課題欄に中止の理由を記入してください。)

※「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

Ⅰ 5. 主な共催事業等 ※社会教育的意義・趣旨等に鑑み、施設利用を許可した事業等

事業名	主催者	実施月	対象・内容等	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	備考等
沖縄県民カレッジ「第1回沖縄美ら島学講座」	沖縄県生涯学習推進センター	5月16日	祈りと近世琉球の再興、羽地朝秀の苦悩について学ぶ	20	3	15%	沖縄県生涯学習推進センターからの依頼により、北部地域の方でも本講座に参加しやすいようサテライト会場を設置した。
沖縄県民カレッジ「第2回沖縄美ら島学講座」	〃	6月4日	琉球王国時代に首里王府によって編纂された「おもろさうし」について学ぶ。	20	2	10%	〃
沖縄県民カレッジ「第3回沖縄美ら島学講座」	〃	7月4日	憐れみ・身命・陰徳の琉球史－琉球人の生き方を探る(Ⅱ)－	20	2	10%	〃
沖縄県民カレッジ「第5回沖縄美ら島学講座」	〃	8月13日	沖縄の生活にある「そなえ」を見直す	20	3	15%	〃
沖縄県民カレッジ「第8回沖縄美ら島学講座」	〃	10月15日	沖縄の食文化～琉球料理の魅力～	20	1	5%	〃
沖縄県民カレッジ「第11回沖縄美ら島学講座」	〃	12月19日	沖縄の経済について	20	1	5%	〃

2. 運営業務 3. 受入事業 4. 主催事業等 5. 共催事業等 取組改善案等	やんばる地域の自然環境や地域の特性を生かした取組を継続していただきたい。広報の強化、運用体制の検討などを行い、更なる利用者サービスの充実と利用者の増加に努めていただきたい。
--	--

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和7年度)の主な取組み改善案等を記載すること。

II. サービスの質の評価

アンケート実施方法		宿泊団体代表者へ協力を依頼した。				アンケート内容		評価項目のとお	
II 1. 施設の利用に関する業務等									
評価項目		第三者(利用者等)評価					指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価				
維持 管理 業務	研修で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉 96%	90%	〈満足度〉 98%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していると思われる。 ・利用者の活動目的達成のため徹底した維持管理を行った。 ・清掃活動が低下する事が無いよう使用する用具を随時チェックし、利用しやすい環境となるよう努めた。 ・各研修施設ごとに一覧表を作成し、優先順位の高いものから修繕、購入を行った。 ・これまで館内の電波が悪いという意見が多かった為、au 沖縄セルラーへ依頼して屋内エリア対策システムを導入するなどの対応を行った。	前年度に引き続き、概ね高評価である。修繕や備品等の購入について、優先順位をつけ、計画的に行っている。電波の改善を行うなど、利用者からの意見を踏まえ、研修環境の改善が行われている。引き続き、所管課と調整のうえ、修繕や備品購入等を行っていただきたい。		
		・とても良い 42% (21票) ・良い 54% (27票) ・悪い 4% (2票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・快適に利用することができました。 ・体育館や大浴場、ミーティングルームに洗濯機等、合宿に必要なものが揃っており快適だった。 ・野外炊飯場がきれいで使いやすかった。 (悪い意見) ・体育館の時計が壊れていて困った。 ・広場の草が伸びていた。 ・体育館のゴミ箱があふれており、扇風機も壊れそうでした。 ・研修室のイスが不足していた。		・とても良い 44% (18票) ・良い 54% (22票) ・悪い 2% (1票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・講義の際、プロジェクターやスクリーンがあって良かった。 ・野外炊飯では、必要な用具が全て揃っていた。 (悪い意見) ・なし					
維持 管理 業務	宿泊で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉 97%	90%	〈満足度〉 95%	S	・全体的に良い以上の評価をしており、概ね満足している。 ・利用者からの指摘事項については、当日に指摘箇所を確認し対応した。使用する各部屋および共用部について随時チェック、整理整頓し、快適な研修環境となるように努めた。 ・体調不良者が出た場合は必要に応じて冷房、暖房の時間外使用を許可するなど、臨機応変に対応した。今後も環境整備を徹底し、施設の衛生美化維持を保つように心がけ、施設を快適に利用できるよう努めたい。	前年度に引き続き、概ね高評価である。利用者のニーズにあった施設を提供できるよう事前の清掃や点検を行うなど、適切な管理が行われている。引き続き、利用者意見を反映した運営改善に取り組んでいただきたい。		
		・とても良い 65% (24票) ・良い 32% (12票) ・悪い 3% (1票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・2段ベッドで寝ることがあまりないので良い経験になった。 ・片付けの写真があって分かりやすかった。 ・お部屋のマットレスが新しくなっていた。 ・清掃がきちんと行き届いていた。 (悪い意見) ・枕が硬い ・毛布が薄すぎる。衛生面なども気になる。 ・ドアの建て付けで音が鳴るところがあった。		・とても良い 44% (18票) ・良い 51% (21票) ・悪い 5% (2票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・お部屋が綺麗に整頓されており、気持ちよく使えた。 (悪い意見) ・枕が硬い。					

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題		
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価				
維持 管理 業務	浴室・トイレの施設・設備について	〈満足度〉 92%	(16票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 97%	(18票)	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していた。 ・大浴場及びトイレのフロアは特に湿気の多い時期になるとカビが発生することから、週に1度重点的な清掃を行っている。 ・施設・設備においては、利用者からの苦情等を直ぐに確認したうえで適切に対応し、苦情の内容等を職員間で共有することで、安心・安全な利用環境の提供及び利用者サービスの意識向上に務めた。	利用者からの意見等を職員間で共有し、利用環境の改善に務めている。 浴槽の水が汚れていたことについては、職員の管理不足があったことから、管理体制等について、改善をお願いしたい。引き続き、利用者意見を反映した利用環境の改善に取り組んでいただきたい。
		・とても良い 43% ・良い 49% ・悪い 8% ・とても悪い 0%			〈満足度〉 97% ・とても良い 55% ・良い 42% ・悪い 3% ・とても悪い 0%				
維持 管理 業務	食堂の施設・設備について	〈満足度〉 100%	(19票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100%	(15票)	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していた。 ・利用者の入所時間の変更、活動内容や時間に合わせて食事の時間を調整するなどし、利用者サービスの向上を図った。 ・感染症対策を含めた安全衛生徹底のため、入室前の手洗い(手洗い場の案内含む)・手指消毒のアナウンスを徹底して行った。 ・利用者退所後に見回りを徹底し昆虫類の死骸除去を行った。 ・キーパーを持ち込んでいる団体については、食堂にて氷と水を無償で提供した。	前年度に引き続き、満足度100%を達成し、高い評価を得ている。利用者要望も踏まえながら適切な食堂サービスを提供していただきたい。 ガステーブルや立体炊飯器等厨房機器の老朽化が進んでいるため、所管課と調整しながら、機器の更新等を進めていただきたい。
		・とても良い 56% ・良い 44% ・悪い 0% ・とても悪い 0%			〈満足度〉 100% ・とても良い 52% ・良い 48% ・悪い 0% ・とても悪い 0%				

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価		
運営 業務	食堂の提供 するメニューに ついて	〈満足度〉 100%	90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していた。 ・団体へのアレルギー調査を基に献立表を作成し、内容にも満足頂いていた。また、質、量、栄養バランス等が良くメニューも好評を得ている。 ・食事については、健康な身体づくりの観点からメニューのバランスや必要な量、カロリーや食事を構成する栄養素などを十分に考えて作られている事等を、施設利用打合せ等で丁寧な説明を心がけた。 ・長期間宿泊する団体についても毎日メニューを変えることでサービス向上を心がけた。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。今後も利用者が満足できるメニューを提供できるよう、工夫・改善を心がけていただきたい。
		・とても良い 68% (27票) ・良い 33% (13票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・とてもおいしかったので毎食楽しみにしていました。 ・ご飯のおかわりができて良かった。 ・沖縄の郷土料理が食べられて良かった。 ・細かいアレルギーにも対応していただきありがとうございます。 (悪い意見) ・いつもより量が少なく感じた。 ・小さい子供にとっては味が濃かった。		・とても良い 64% (29票) ・良い 36% (16票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・食堂では、水や氷の提供に加え、細かなアレルギーにも対応して頂きました。 ・県外の利用でしたが、昼食に沖縄そばを提供してくれた。 ・長期の宿泊でしたが、食事のメニューが豊富で飽きなかった。 (悪い意見) ・なし			
運営 業務	施設が提供 する活動プログラムについ て	〈満足度〉 100%	90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していた。 ・引き続き利用団体の活動目的および特徴を理解し、プログラムを共に考え分かりやすい指導を心がける。また、新規プログラムを開発することで幅広いニーズに応えられるようにし、特に利用者からの指導に関する要望については適切に対応していきたい。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。今後も安全対策を十分に行い、利用者のニーズを把握しながら、プログラムの改善に努めていただきたい。
		・とても良い 47% (14票) ・良い 53% (16票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・ナイトウォークラリーを安全に実施することができた。 ・やんばるの生き物が見られてよかった。 ・野外炊飯がとても良い経験になりました。 ・雨天時のプログラムがたくさんあって良かった。 (悪い意見) ・なし		・とても良い 55% (21票) ・良い 45% (17票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・手作りのゲームで楽しませて頂きました。 ・他の青少年の家が受入できない中、大人数の受入も対応して頂きました。 ・雨天時の代替えプログラムが豊富にあって助かりました。 (悪い意見) ・なし			

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価		
運営業務	電話や窓口での対応、プログラムの指導について	〈満足度〉 100%	90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足いただいている。 ・荒天時が続いている時等、ハイキングや登山コースにおいて危険箇所がある場合は、職員間で情報を共有し、利用者に対しても細かく情報を提供、説明し、安全に利用していただいた。 ・事前打ち合わせの際は、指導の方針や流れを細かく説明し、研修生の年齢に合わせた丁寧な支援・指導を心がけた。 ・名護岳登山コースにおける階段や橋の老朽あが問題であった為、名護市農林水産課へ依頼してコース内の整備を実施した。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。些細なことからクレームになることもあるため、常に利用者の立場に立ち、誠意ある対応を心がけていただきたい。
		・とても良い 57% (24票) ・良い 43% (18票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・親切な対応ありがとうございました。 ・確認や質問、学生の対応も素早く良かった。 ・社会教育施設であること、ここで何を学ぶのかをしっかりと説明していただいた。 ・変更、調整、確認の対応がスムーズでした。 (悪い意見) ・なし		・とても良い 56% (28票) ・良い 44% (22票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・全ての体験学習に施設の方が同行、レクチャーして下さりありがとうございます。 ・具体的な生き物の事や、朝礼での鳥の話など、自然の中で過ごしている感覚へのアプローチが素晴らしかった。 ・ここで何をするのか、どう学ぶべきかを説明して頂くことで、子どもたちの集団行動の意識が高まった。 (悪い意見) ・なし			
運営業務	施設の利用料金について	〈満足度〉 100%	90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足いただいている。 ・利用団体の免除の有無に係わらず、均一なサービスを提供するよう心がけた。また、今後とも安価によるサービス低下ならびに施設の不備、不便とならないよう徹底したい。 ・施設や備品、用具等を破損させた場合や寝具類を汚した場合は追加費用を徴収する旨をあらかじめ説明し、金銭トラブルが生じないように務めた。 ・今後も安価で利用しやすい料金設定を心がける。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。令和8年7月以降、条例改正により利用料金を値上げしているが、引き続き利用者の満足のいく運営を心がけていただきたい。
		・とても良い 66% (31票) ・良い 34% (16票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・料金の免除がとてもありがたい。 ・利用しやすい金額です。 (悪い意見) ・なし		・とても良い 63% (36票) ・良い 37% (21票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票) (良い意見) ・良心的で良い。 ・利用料金の免除がありがたい。 (悪い意見) ・なし			

評価項目		第三者(利用者等)評価					指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価			
運営業務	食事料金 について	〈満足度〉 100%		〈満足度〉	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していた ・食事料金については食材の値上げ等に伴う料金設定である旨を丁寧に説明し理解を得られるように心がける。 ・アンケートの結果を食堂とも共有し、適時改善を図っていく。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。物価高騰の影響もあると思われるが、引き続き利用者の満足を得られるよう工夫・改善を図った運営を行っていただきたい。
		・とても良い 64% (28票)		90%	・とても良い 63% (33票)			
		・良い 36% (16票)		・良い 37% (19票)	・悪い 0% (0票)			
		・悪い 0% (0票)		・悪い 0% (0票)	・とても悪い 0% (0票)			
		(良い意見) ・とても良い。 ・満足です。			(良い意見) ・他の施設と比較して安い。			
		(悪い意見) ・なし			(悪い意見) ・なし			

※ 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(4段階評価の場合上位2段の割合)により算定するものとする。

※ 「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価

Ⅱ 2. 主催事業等

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価		
運営業務（主催・自主事業）	事前の広報について	〈満足度〉 97%		〈満足度〉 90%	〈満足度〉 98%	S	・全体的に良い以上の評価しており概ね満足いただいている。 ・名護青少年の家の近隣の公共施設等へのチラシ配布や告知ポスター等の掲示及び名護市情報誌の市民の広場や弊社の管理施設へチラシの掲示を積極的に依頼した。HP以外では新聞副読誌等（レキオ・ほーむぶらざ）も活用するなど、各事業毎に掲載の申請を引き続き行っていく。
		・とても良い 41% (98票)			・とても良い 37% (86票)		
		・良い 56% (136票)			・良い 61% (140票)		
		・悪い 3% (7票)			・悪い 2% (4票)		
		・とても悪い 0% (0票)			・とても悪い 0% (0票)		
		(良い意見) ・Instagramや新聞等に情報があって見つけやすかった。 ・電話以外でもHPから申し込みができるのでありがたい。			(良い意見) ・Googleフォームから申し込みができるのありがたい。 ・イベントチラシや内容がホームページやインスタに掲載されていて見やすい。		
		(悪い意見) ・市民の広場などの広報誌も活用してほしい。			(悪い意見) ・申し込みフォームを簡潔にして欲しい。		
運営業務（主催・自主事業）	電話や窓口の対応について	〈満足度〉 100%		〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に満足して頂いた。 ・名護青少年の家の事業に参加されたことが無い方は内容を含め雰囲気等も分からないことが多く不安もあると思われることから親切丁寧な対応を心がけ、実施1週間前に要項を送付するなどの対応も行った。
		・とても良い 59% (92票)			・とても良い 51% (84票)		
		・良い 41% (65票)			・良い 49% (81票)		
		・悪い 0% (0票)			・悪い 0% (0票)		
		・とても悪い 0% (0票)			・とても悪い 0% (0票)		
		(良い意見) ・キャンセル待ちから本参加になったが、こちらから確認する必要が無くて助かった。 ・わざわざ要項を送っていただきありがとうございます。丁寧です。 ・電話受付の対応がスムーズでした。			(良い意見) ・問い合わせに対し、とても丁寧に対応してくれました。 ・当日の持ち物などの連絡があった助かった。		
		(悪い意見) ・なし			(悪い意見) ・なし		

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価		
運営業務（主催・自主事業）	事業の内容について	〈満足度〉 100%	90%	〈満足度〉 100%	S	・全体的に良い以上の評価をしており概ね満足していただいている。前年度のアンケートから参加者からの要望を洗い出し、できる範囲内で内容を取り入れるように努めた。特に、キャンプ事業についてはリピーターが多いことから極力前回と同じような内容にならないよう、新規プログラムの開発やタピックグループ独自のプログラムを活用した。 ・事業終了後に職員会議を行い、参加者ならびに職員からのアンケートを取り纏めることで更なる内容の改善を図った。	満足度は100%となっており、利用者から高い評価を得ている。今後も参加者の声を参考にしながら、既存事業の改善や県民のニーズに応えたプログラム開発に努めていただきたい。
		・とても良い 36% (78票) ・良い 64% (139票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)		・とても良い 43% (81票) ・良い 57% (109票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)			
		(良い意見) ・バタフライウォッチングはやってみるととても興味深く、子どもたちは改めて虫が好きなんだというのを感じた。テント設営、野外炊飯、カヌー体験など全てが楽しかった。(カヌーキャンプ) ・ピザだけでなくピザ釜を作れたのが良かったです。息子も料理に対して興味を持つことができたようです。(ピザ作り体験) ・雨の影響でアカハラダカは見れませんでした、イノシシやヒヨドリ、キジバトが見られて良かった。自然の宝庫に感謝です。(渡り鳥を観察しよう) ・ネオパークのバックヤードツアーに燻製料理など、どれも親子共に学びがありとても楽しめました。職員の方々がとても親切にしてくれました。(オータムキャンプ) ・子どもが興味を持てる内容だったので参加しやすかった。初めて望遠鏡で土星を見ることができた。(秋の星空観察会) 等		(良い意見) ・プラネタリウムの映像がすごかった。(春の星空観察会) ・カラキヤルートビアの香りを体験できたので良かったです。(葉っぱスタンプエコバッグ作り) ・子どもたちがのびのび楽しんでいました。(アクティビティ王決定戦) ・一昨年参加した時よりも多く見ることができた。(ホタル観察会①) ・慰霊の日に戦没者を弔う気持ちで清掃に参加することができました。(慰霊の日奉仕活動) ・鳥の缶バッジ作りが楽しかったです。(夏の野鳥を観察しよう) ・アイスクリーム作りが楽しかった。(カヌーキャンプ) ・資料も分かりやすく、天文現象を知ることができて参考になりました。(夏の星空観察会) ・初めて宿泊学習の担当をすることになり、不安でしたが、大まかな流れを知ることができて良かった。(宿泊指導者研修会) ・親子で参加しましたが、子どもが率先して取り組む姿を見られて良かった。(ピザ作り体験) ・鷹柱を見られて良かったです。講師の先生や職員の皆様、参加者全員で探したからこそ見られました。(渡り鳥を観察しよう) ・どれだけテレビやSNSで見たり聞いたりしても、体験には敵わないと思いました。(オータムキャンプ) 等			
		(悪い意見) ・なし		(悪い意見) ・入浴時間をもう少し長くしてほしい。			

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和6年度評価		R7年度 目標	令和7年度評価		
運営業務（主催・自主事業）	講師の進め方について	〈満足度〉 99%	90%	〈満足度〉 99%	S	・全体的に良い以上の評価をしており、概ね満足いただいている。「ナゴランを育てよう」や、「やんばる自然教室」においては、希少植物など専門性の高い内容ではあったが児童・生徒にも理解できるようかみ砕いた説明を配慮していただいた。「親の学びあいプログラム」では名護市教育委員会との内容の共有や家庭教育支援アドバイザーの意見を聴収し、より適した内容になるよう工夫した。	参加者の満足度は高い。今後も参加者の声を参考にしながら、講師の選定・調整等に努めていただきたい。
		・とても良い 57% (123票)		・とても良い 54% (102票)			
		(良い意見) ・先生のお話しがとても分かりやすくて良かったです。(葉っぱスタンプエコバッグ作り) ・プラネタリウムのお話しがとても楽しかった。(夏の星空観察会) ・とても気さくな方でした。もっと色々聞きたかったです。(ホタル観察会) ・指示の出し方が適格でスムーズだった。(ピザ作り体験) ・鳴き声を聞いただけで鳥の種類が判別できてすごい先生だと思った。(渡り鳥を観察しよう) ・その都度、集合時間や準備物などのアナウンスがあつて良かった。(オータムキャンプ)		(良い意見) ・スライドで分かりやすい解説だった。(春の星空観察会) ・マングローブや汽水域の生き物の話が面白かった。(カヌーキャンプ) ・先生がとても楽しそうに話しており、見ていて気分が良かった。(夏の野鳥を観察しよう) ・子どもが授業で習ったことを結び付けながら楽しく学んでいた。(秋の自然観察会) ・ネオパークの裏側を知ることができた。(オータムキャンプ)			
		(悪い意見) ・なし		(悪い意見) ・なし			
運営業務（主催・自主事業）	参加費について	〈満足度〉 98%	90%	〈満足度〉 95%	S	・全体的に良い意見がほとんどであり、十分に満足していただいた。キャンプ事業においては、家族全員での参加の場合、費用負担が大きくなるため、わずかに収入が上回る程度に設定した。特に費用の掛からない事業については、従来のキャンセル料とはせず、食料代の支払いのみとし、極端な費用負担のイメージとならないよう丁寧な説明と対応を心がけた。	参加者の満足度は高い。今後も参加者が満足・納得できる参加費設定に努めていただきたい。
		・とても良い 74% (114票)		・とても良い 27% (10票)			
		(良い意見) ・大人1,000円でプラネタリウムはとても安い。 ・充実したプログラムを安い料金で体験できて良かった。		(良い意見) ・宿泊込みで参加したが、料金の安さに驚いた。 ・良心的な参加費でした。 ・子ども連れにやさしいと思いました。			
		(悪い意見) ・なし		(悪い意見) なし			

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和6年度評価	R7年度 目標	令和7年度評価		
Ⅱ. サービスの質 の評価 総合評価(各評 価項目の平均)	Ⅱ 1. 施設の利用に關する業務等 満足度 98% Ⅱ 2. 主催事業等 満足度 99% 総合評価 満足度 98%	(満足度) 90%	Ⅱ 1. 施設の利 用に關する業務 満足度 99% Ⅱ 2. 主催事業等 満足度 98% 総合評価 満足度 99%	評価 (②満足度) S	施設の維持管理業務、運営業務双方について、高いサービスの質を保つことができた。 施設の維持管理業務、運営業務双方について、利用者の高い評価が得られている。

※ 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(4段階評価の場合上位2段の割合)により算定するものとする。
 ※ 「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

【評価基準(②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	今後も、利用者の意見を踏まえた、安全で魅力的な運営・事業を実施するとともに、新規プログラムの開発など利用者の開拓等に努めていただきたい。
-----------------------	--

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取り組み改善案を記載すること。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

Ⅲ1. 収支

(1) 収入

単位:千円

収入項目		R6 実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R7 実績	前年比 (金額) (%)		計画比 (金額) (%)		特記事項 (変更理由等)
利用 料金 収入	計	3,181	3,553	0	2,484	-697	78%	-1,069	70%	
	宿泊室	2,646	2,800		1,942	-704	73%	-858	69%	
	キャンプ場	7	60		23	16	335%	-37	39%	
	研修室及び訓練室	53	80		48	-5	90%	-32	60%	
	プレイホール(体育館)	475	613		471	-4	99%	-142	77%	
指定管理料		42,024	44,399		46,924	4,900	112%	2,525	106%	指定管理料の再算定
事業 等 収入	計	2,479	2,796	0	2,859	380	115%	63	102%	
	主催事業収入	25	96		802	777	3209%	706	836%	
	自主事業収入	706	800		0	-706	0%	-800	0%	事業分類の整理による
	その他(薪代・シーツ代等)	1,748	1,900		2,057	309	118%	157	108%	
その他収入(自販機電気料等)		121	150		88	-33	73%	-62	59%	
合計(A)		47,805	50,898	0	52,356	4,551	110%	1,458	103%	

〈現状分析・課題〉

利用料金収入については、キャンプ場収入が増加したものの宿泊室収入等は前年度を下回っていることから計画比70%にとどまっているが、収入全体としては指定管理料の再算定により指定管理料が増額されたこともあり、事業計画を上回る収入を達成している。

(2) 支出

単位:千円

支出項目		R6 実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R7 実績	前年比 (金額) (%)		計画比 (金額) (%)		特記事項 (変更理由等)
人件費		20,569	22,668		22,584	2,015	110%	-84	100%	
賃金		0	0		0	0	-	0	-	
報償費		512	100		202	-311	39%	102	202%	
旅費		0	50		0	0	-	-50	-	
需用費	計	12,573	13,755	0	12,309	-264	98%	-1,446	89%	
	消耗品費	2,499	2,500		1,714	-785	69%	-786	69%	
	燃料費	286	350		328	42	115%	-22	94%	
	印刷製本費	0	30		0	0	-	-30	0%	
	光熱水費	8,125	10,375		8,251	126	102%	-2,124	80%	
	修繕料	1,663	500		2,017	354	121%	1,517	403%	食器洗浄機、ボイラー修繕等
	その他(食糧費等)	0	0		0	0	-	0	-	
役務費	計	656	725	0	2,491	1,835	380%	1,766	344%	
	通信運搬費	244	300		243	-1	100%	-57	81%	
	手数料	111	25		1,852	1,741	1669%	1,827	7408%	
	損害賠償保険料	1	150		1	0	102%	-149	1%	
	火災保険料	273	250		377	104	138%	127	151%	
自動車保険料		25	0		17	-8	68%	17	-	
委託料		6,598	10,384		6,849	251	104%	-3,535	66%	当初計画警備費用の縮減
使用料及び賃借料		1,010	450		493	-517	49%	43	110%	
備品購入費		0	50		0	0	-	-50	0%	
負担金		0	10		0	0	-	-10	0%	
間接経費		205	1,019		1,054	849	514%	35	103%	一般管理費等
公課費		2,754	2,000		2,697	-57	98%	697	135%	消費税計上
その他		0	0		459	459	-	459	-	会費、広告費、新聞等
合計(B)		44,877	51,211	0	49,136	4,259	109%	-2,075	96%	

〈現状分析・課題〉

職員数が1名増となったことから、人件費が前年比110%となった。また、寝具類のクリーニングを大規模に行ったことで手数料が計画比1,669%となっているが、警備費用の見直しによる委託料の縮減等もあり、事業計画の範囲内に収まっている。

※「事業計画(当初)」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容を「事業計画(変更後)」に記載すること。

「計画比」は、「事業計画(当初)」と比較すること。「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

Ⅲ2. 経営分析指標

評価指標	R6 実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R7 実績	前年比 (金額) (%)		計画比 (金額) (%)		特記事項 (変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	2,928千円	-313千円	-	3,219千円	291千円	110%	3,532千円	-1029%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計 (A))	6.1%	-0.6%	-	6.1%	-	100%	-	-1000%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	6.7%	7.0%	-	4.7%	-	71%	-	68%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	45.8%	44.3%	-	46.0%	-	100%	-	104%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出 (B))	14.7%	20.3%	-	13.9%	-	95%	-	69%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	1,776円	1,984円	-	2,108円	332円	119%	124円	106%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	1,663円	1,720円	-	2,013円	350円	121%	293円	117%	

〈現状分析・課題〉

事業収入が好調かつ指定管理料の再算定があったこと、また消耗品費や委託料の執行残が多くなったことから、事業収支は約300万円の黒字となっている。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支／収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	小規模修繕等の対応を増やしながらかも、委託料等の節減により概ね事業計画内の収支に収まっており、効率的な管理運営を行っている。今後も光熱水費等の節減に努めながら、計画的な消耗品の購入や小規模修繕を行いつつ、安定した運営を行っていただきたい。
----------------------------------	---

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取り組み改善案を記載すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ. 総合評価

Ⅳ1. 目標

評価項目		評価指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	25,811人	33,685人	34,156人	34,635人	令和8年度より新・沖縄21世紀ビジョン実施計画(中期)より設定
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	定率 (6施設共通)
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上	定率 (6施設共通)

Ⅳ2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和6年度 実績	事業計画 (目標値)	令和7年度 実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価	取組改善案	令和8年度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	25,270	25,811	23,311	92%	90.3%	運營業務、受入事業、主催事業は適切に実施されている。前年度より主催事業の定員充足率は上昇した。しかし、利用者数については、利用団体の構成員減少及び直前の利用キャンセルなどにより、やや減少した。	B (0点)	やんばる地域の自然環境や地域の特性を生かした取組を継続していただきたい。広報の強化、運用体制の検討などを行い、更なる利用者サービスの充実と利用者の増加に努めていただきたい。	33,685
	②満足度	満足度	98%	90%	99%	101%	112%	施設の維持管理業務、運營業務双方について、利用者の高い評価が得られている。	S (20点)	今後も、利用者の意見を踏まえた、安全で魅力的な運営・事業を実施するとともに、新規プログラムの開発など利用者の開拓等に努めていただきたい。	90%

財務指標	③財務状況	収益率	6.1%	-0.6%	6.1%	100%	-1000%	事業収入が好調かつ指定管理料の再算定があったこと、また消耗品費や委託料の執行残が多くなったことから、事業収支は約300万円の黒字となっている。	A (5点)	小規模修繕等の対応を増やしながらも、委託料等の節減により概ね事業計画内の収支に収まっており、効率的な管理運営を行っている。今後も光熱水費等の節減に努めながら、計画的な消耗品の購入や小規模修繕を行いつつ、安定した運営を行っていただきたい。	0%以上
活動指標	④重点取組事項	やんばる地域の特性を活かした事業の参加者数（目標値は過去3年平均）	354人	254人	386人	109%	152%	名護岳及び名護城公園周辺の豊かな自然を活かした魅力的な事業を展開しており、参加者数も目標を達成している。	S (10点)	継続して事業を実施できるように努めるとともに、参加数が少ない事業については、改善をしていただきたい。	200人

総合評価	利用者数は目標に対して未達成であったが、継続的に適切な管理・運営が行われている。特に自然環境や地域と連携した多彩な主催事業が行われ、利用者の評価も高かった。広報を強化しつつ、プログラムの新規開発等により、利用者の増加に努めていただきたい。	A (35点)
------	---	------------

※重点取組事項の「評価指標」には、具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価」欄には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適切に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。

※「目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】**①利用状況**

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度

(各評価項目の平均値)

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

